

## 「 幸せを支える税 」

杉戸町立杉戸中学校 3年 新岡 珠采

私は今、幸せです。それは毎日学校に通いいろいろなことを学べて、大好きな家族や友人達と安全で安心な生活を送ることができているからです。そしてその幸せは、国の税金制度にも支えられています。税金は、そんな安全・安心な社会を維持するために不可欠なものです。そして、私達は日常生活の中で、税金の恩恵を様々な形で受けています。

道路や上下水道の整備、国民医療費や年金、ごみの回収と処理、消防や警察の活動など、私たちの暮らしに欠かせないものの多くに、税金が使われています。そして、私達学生や受けている税金の恩恵として忘れてはならないのが、教育です。私達が公立学校で使っている教科書や机やイス、図書室にある本などの購入に加え、校舎の建設・改修の費用や先生方の給与等が税金で賄われていて、令和四年度の公立学校の年間教育費は、中学生で一人あたり約百十万円が使われたそうです。とても大きな金額です。もし税金が使われなければ、これを全て個人で負担することになり、今のような整った教育環境で全員が平等に教育を受けることはできなくなるでしょう。私たちが当たり前のように過ごしている日々は、当たり前ではないのです。日本の未来を担う子供達のために収められた大切な税金で成り立っていることを忘れず、感謝して学ばなければならないことを強く思いました。

日本は今、速いスピードで少子高齢化が進んでいます。それに伴って社会保障関係費が増え続け、国民負担率も上昇していくと聞きます。国民の健康や安心、老後の生活等を支える重要な社会保障費ですが、このまま負担が増え続けるとは、国民の生活も心も貧しくなってしまうかもしれません。では、負担を増やさないためには、どうしたらよいのでしょうか。これからの社会保障や税のあり方、使い方について、国会で議論を重ねて改革していくことはもちろん重

要なことです、今の私たちにはできません。しかし、税の無駄遣いをなくすことは、今すぐに私や多くの人に取り組めるのではないのでしょうか。真摯に学習すること、ごみを減らすこと、さらに、税への関心や知識を高め、様々な課題について考えることなど、今の私ができることはとても小さなことかもしれませんが、一人一人が意識した行動を取ることで、税の無駄遣いをなくすことに少しでも繋がっていったらと思います。

今、私にとって一番身近な税金は消費税です。幼い子供から高齢者まで、買い物の際に消費税として税金を払っています。そうして皆が税金を払い、税の恩恵を受けて暮らしています。私が払った消費税も、日本のどこかでほんのわずかでも社会に役立っているのだと思うと嬉しいです。そして、税を有効に使ってもらい、より多くの人々が幸せだと思える社会になるよう、願っています。